

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農工商連携	◎	農・林・水産業	
			地域医療・福祉・介護、教育		観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	○	環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		にしやま ひろあき				
氏名		西山 巨章				
所属	名称	大正大学地域創生学部				
	役職	教授				
連絡	住所	〒170-8470				
		東京都豊島区西巣鴨3-20-1				(職場)
	連絡先	E-mail hiro-ns[アットマーク]kcd.biglobe.ne.jp				
		TEL 03-3918-7311		FAX 03-5394-3037		
連絡方法		E-Mailでお願いします				
略歴		2019年9月 神戸大学大学院博士後期課程修了 博士(経済学)(1979年3月 和歌山大学経済学部卒業) 1979年4月 大蔵(現財務)省入省。財務省では、金融・財政業務に携わり、その間に、国民生活(現日本政策)金融公庫、関西国際空港株式会社(財務部長)、信州大学(経済学部教授)などに出向。 2016年3月 財務省(研修部長)を最後に退官し、同年4月 内閣府から和歌山県美浜町(地方創生統括官)に派遣され、地方創生活動に従事。 2018年9月 九州共立大学経済学部教授 2021年4月 大正大学地域創生学部教授 2016年4月から、財務省 上席客員研究員				
著作・論文等		【著作】ポストコロナ時代に求められるソーシャル・キャピタルと融合した地域金融(『ポストコロナとマイナス金利下の地域金融～地域の持続的成長とあるべき姿を求めて』第10章) 金融時事用語集(2021～2024年版、金融ジャーナル社、共著) 【投稿】和歌山県美浜町の未来づくり(地方創生の現場から第1回、ファイナンス 2018年5月号、財務省) 今、地域金融機関は何をなすべきか～ソーシャル・キャピタル金融のすすめ(月刊金融ジャーナル 2020年8月号) 【論文】金融で地域を元気にできるか金融で地域を振興できるか(				
取組概要		地方創生人材支援制度で和歌山県美浜町に派遣され、消滅寸前の過疎地をカナダ移民のまちとして再生し、NPO 法人を立ち上げ、カナダミュージアム、レストラン、ゲストハウスを整備。ふるさと教育を兼ね、英語で話せる語り部ジュニアを育成し、バンクーバーに派遣してカナダとの交流が復活した。 また、地元産品を販売するためのアンテナショップを設置。管理不十分で荒廃した運動公園にフリースペースやシェアキッチンを設置して多世代交流・起業の拠点として整備し、管理運営のた				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	めの一般社団法人を立ち上げた。 九州共立大学(福岡県北九州市)でも、地方創生活動に取り組み、北九州市では、バーチャル商店街や駅高架下の多世代交流施設のアイデアを企画。岡垣町(福岡県)では、駅前ライトアップ企画を通じて産学官連携を実現。岡垣町で自己成長発見型インターンシップを実施したほか、駅前イルミネーション実行委員会会長、岡垣町公共施設検討委員会副会長、芦屋町(福岡県)でブランド金賞選定審査会委員長を委嘱された。		
メッセージ	地方創生とは、「各地域の特徴を生かしつつ、自律的で持続的な社会を創生することで、日本全体の活力を上げることを目指すこと」です。人口減少や高齢独居者の増加など地域が衰退していく中で、地域が抱える課題について、地方創生の新たな視点から考える必要があります。私が地域創生活動をしていく中で、「何をやっても失敗する」「リスクがある」「勝手なことをするな」と何度も投げ掛けられてきましたが、「やってみなければわからない」「失敗の先に成功がある」と答えてきました。 地域にはタカラが一杯眠っています。一緒に地域のタカラ探しをしませんか。私のモットーは、「楽しくなければ地方創生じゃない」です。皆さんが住むまちのタカラを発見・活用・PRして、地域活性化のお手伝いをしていきたいと考えています。		
関連ホームページ	http://www.tais.ac.jp/chinavi/result/h_nishiyama/	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。